

✧ 海外ニュース ✧

スペイン 2022年5月6日 El País

■ Ferrovial, 高速道路建設の今年の最初の3カ月期の実績は、昨年同期間に比べて利益が上昇

Las autopistas impulsan las ganancias de Ferrovial en el primer trimestre

フェロビアルは、第1四半期に15億7,300万ユーロの収益を上げた。これは昨年同期比で7%上回り、EBITDAは4.7%上昇した。北米では気象条件の悪化でテキサス州の多くの道路が閉鎖されたことや、コロナウイルスのオミクロン株が発生するなど悪化要因はあったが、高速道路の収益回復を阻むことはなかった。なお、テキサス州の高速道路NTE, NTE35W およびノースカロライナ州の州間高速道路77号などの交通量は2019年と比べても上回っていることに加え、大型車両の利用が営業利益を押し上げている。

ドイツ 2022年5月10日 Berliner Morgenpost

■ 自動車はずっと交通手段としての人気を保ち続ける

Auto bleibt Beliebtestes Verkehrsmittel

ドイツでは過去数年にわたって、利用交通モードへの政策転換が継続的に取り上げられてきた。しかしドイツ人の多くは、自動車からバス・鉄道への切り替えには乗り気でない。調査によると70%の人が最適な輸送手段は自動車だと回答している。鉄道は16%、バス・電車は12%であった。再生可能エネルギーの大幅なコスト削減に取り組むと共に、電気自動車、CO₂を排出しない車の普及が優先課題となりそうである。

米国 2022年5月12日 Forbes

■ Kodiak Robotics 社、孤立した自動運転貨物車を支援する自律制御装置を発表

Kodiak Robotics Reveals Self-Curbing System for Broke Autonomous Trucks

自律型商業用貨物車の利用が進みつつあるが、車両に不具合が生じたときに乗務員がいない状態でどう対応するかは課題の1つである。Kodiak Robotics 社では、Kodiak Driver 自律システムと連動して機能する Fallback と呼ばれるシステムを公表した。異常事態の発生で、ある種の診断が機械に行われると、Fallback が介入して、トラックを安全な場所へと誘導し、車両システムが遠隔支援を受けられるようにする仕組みである。

米国 2022年5月12日 Fox23

■ オクラホマ州有料道路局、有料道路の料金所への強盗で機械を破壊され数千ドルの被害に

Toll booth robberies are costing thousands, Oklahoma Turnpike Authority says

オクラホマ州では、ここ数年有料道路の料金所で、盗難の被害が多く発生しているという。実際には、盗難に加え料金機械が破壊されており、修理を行うにも機械の型が古いことから部品の取替えが困難で修理ができず、その損害額は盗まれた金額よりも高いとオクラホマ州有料道路局は述べている。料金機械の修理にかかる総額は何万ドルにも達し、安全と利便性のため古い料金ブースの利用を止めて、キャッシュレス方式の徴収方法に切り替える方針という。なお、同州では、2025年にはすべての有料道路での徴収をキャッシュレス化する意向である。

英国 (中国) 2022年5月12日 Highways magazine

■ 中国の自動運転会社の WeRide は自社の自動路面清掃車の試運転を実施中。中国で最初の特定作業向けの大型自動運転車

Robo Street Sweeper takes to the roads : Chinese autonomous vehicle company WeRide is running a huge road test of its Robo Street Sweeper, the country's first mass-produced and purpose-built self-driving sweeper.

中国の WeRide 社は、同国で最初の大量生産型仕様の自動運転清掃車の路上試運転を実施している。これまで

も同様な自動運転車両はあったが、清掃業に向けて開発されたのは初めてである。ハンドル、アクセル、ブレーキがなく、運転手も基本的に不要で、一日中作業に従事できるが、特定の状況下においては、車両内外の運転者が車両を制御することになるレベル4対応の自動運転車両である。市街地で、清掃、散水を行う他消毒作業も実施できる。なお、英国では、同様の特定作業に向けた自動運転車が登場するのはあと5年程度かかると言われている。

米国 2022年5月12日 Boston 25 News

■ 道路利用料金の急激な増加は、高速道路の利用車数が元通りになったことを鮮明に示している

Strong toll collections underscore return of highway traffic

高速道路の交通量が再び増加しており、2022年度初めからの9カ月間で、マサチューセッツ交通局は、3億650万ドルの収益を記録し、前年同期比で7,000万ドルの増益となっている。今年度通算では、当初想定より7,600万ドル多い道路収益が得られる見通しである。道路利用者の戻りは、2019年のコロナ流行開始で交通量が落ち込んでから現在の回復まで、公共交通機関と違いそれほど時間を要しなかったことになる。

スペイン 2022年5月13日 El País

■ Abertis 社、ACS グループの収益性を向上させる

Abertis impulsa la rentabilidad de ACS

Abertis 社が再び、ACS の収益性を押し上げる原動力となった。Florentino Pérez 社長が率いる同社は、今年度の最初の3カ月で、1億3,600万ユーロの利益を得て、去年の同じ時期に比べて、5,100万ユーロの増額となった（Vinci 社に売却されたCobraの工業部門を除く）。EBITDAは3億9,900万ユーロで、昨年と比べて21.6%増である。なお、交通量は、新型コロナウイルス蔓延以前の水準も上回ってきている。

ドイツ 2022年5月13日 Handelsblatt

■ 環境大臣会合、高速道路の速度制限を支持する意見を表明

Umweltministerkonferenz spricht sich für Autobahn-Tempolimit aus

ドイツの環境閣僚会議が開かれ、燃料を節約するためアウトバーンの速度制限が必要であるという意見の一致を見た。他方で、具体的な数値は決定されなかった。その他、今後はさらに再生可能エネルギーの利用拡大を促進するものの、ウクライナ危機で生じた食料危機に対応するため、食物由来の燃料の利用を制限すべきだという提案がなされた。

イギリス 2022年5月16日 New Civil Engineer

■ ポットホールを引き起こした公共事業者に罰則を科す政府の取り締まり

Utility firms causing 'plague of potholes' to face penalties in government crackdown

イギリス運輸省は、道路に生じたポットホールの補修について、費用と通行車両への影響を減らす取組みを公表した。公益事業者（水道・ガス・電気）に検査を実施し、基準を満たさない事業者に対しては財政的な罰則を課す方針である。道路工事が頻繁に行われる時期には、ただでさえ道路利用者をいらだたせるのに、工事が終わったときに中途半端な状態で道路が放置されているのは耐え難いことであるという意見も出ている。英国政府は2020年から2025年までに、50億ポンドを投入して、地方自治体のポットホール補修事業を支援している。

ベトナム 2022年5月16日 Vietnam News

■ ベトナムの高速道路5路線で、ノンストップ自動車通行料金徴収システムを9月までに設置計画

Five expressways to use non-stop automatic toll collection by September

VEC社 (Vietnam Expressway Corporation) は、高速道路5路線で、ノンストップ自動料金徴収システム (ETC) を9月までに設置する計画を同国運輸省に申請した。同社では、2020年6月から Cau Gie-Ninh Binh Expressway における15レーンで、ETCの設置運営を既に開始しており、VEC社の全道路の料金収入のうち51%に対応している。

イスラエル 2022年5月16日 ITS International

■ Indra社の人工知能が、イスラエルにおける交通流の円滑化を支援

Indra AI helps Israel traffic flow

Indra社は、イスラエルの交通量の多いアヤロン高速道路に、動的な料金収受システムを導入する2,400万ユーロの契約を行った。テルアビブ近郊でHOV車線の設計、設置に加え、10年間の保全を行うものである。Indra社が開発したアプリでは、ドライバーが運転している車に関し、HOV (High-Occupancy Vehicle: 乗員数が規定数以上の車両) であることを適時申告して、道路利用料金の免除を受けることができる。また同社の交通管理システムHorusに今後統合され、高速道路での発生事象を一元的に把握できるようにされる。なお、米国ワシントンDC近郊の州間高速道路66号でもIndra社による同様の技術が用いられている。

フランス 2022年5月16日 Le Figaro

■ ヴァンシ社：高速道路と空港間の交通量は引き続き改善される

Vinci : le trafic sur les autoroutes et les aéroports continue de se redresser

Vinci Autoroute社は、交通量が4月の時点で55.7%の年間の伸び率を示し、普通車は71.3%、貨物車は1.8%の増加となったことを公表した。2019年4月と比べると2.8%の減少であった。この減少は、燃料の高騰に加え、この2年間の春休暇の時期のずれが原因とのことである。なお、Vinci Airports社では、空港の乗客数は昨年比べて4.3%増加したが、2019年比では30.6%減少しているとしている。

スペイン 2022年5月18日 Comunidad Valenciana Europa Press

■ 人の感情がわかる、より人間に近く、安全な自動運転車

Un coche autónomo "más humano y seguro" que comprende las emociones

運転者を理解し、その恐れ、憤り、満足、退屈、苦悩、怒りおよび喜びを感知し、集中力や注意力、ストレスの水準を察知する自動運転車が開発されつつある。IBV (el Instituto de Biomecánica = 生物工学研究所) がSUaaVE (Supporting acceptance of automated Vehicle = 自動運転車の開発支援) プロジェクトによって、ドライバーの心の状態と認知行動機能と感情の安定度をリアルタイムで把握して、自動運転の精度を高める努力を行っている。状況判断を行いながら、人の感情の動きに対応することで、自動運転の機能を向上させるのが開発の目的である。従来の同分野の技術では、安全性までは到底及ばなかった。

米国 2022年5月26日 Mobility21

■ 交通技術会議 (TTF)、「人的な操作と介入なしに」道路標識をバーチャルで表示する動画を紹介

TTF shares video of virtual road signs "untouched by human hand"

交通技術会議 (TTF) は、映像監視ソフトウェア (VMS) と最新技術を用いて、道路標識が人による操作や介入なしに車両内で繰り返し表示される動画を発表した。この動画では、コネクテッド車の技術革新を利用し

て、道路標識の正確な位置を特定し、通行中の車両にその標識の内容を伝達する仕組みについて紹介している。人的操作と介入なしに、正確でリアルタイムな道路工事情報等を通行する車両のドライバーに伝える機能が備わっている。

スペイン 2022年5月29日 El País

■ 通行料の一部区間の無料化とコロナ流行後の交通量の増大が、地中海沿いの高速道路での事故を急激に増加させている

El fin de los peajes y la movilidad pospandémica disparan la siniestralidad en la Autopista del Mediterráneo

カタルーニャでは死亡事故200%、重症事故166%で、バレンシア地域では交通量が増加し、通行料を無料にしてから被害者を伴う事故が2021年までに19%増加し、その年の最初の5カ月間は57件の事故と4件の死亡事故を記録している。例えば、カタルーニャ La Jonquera とバレンシア Alicante 間の高速道路の通行料を完全無料化したことで、600 km 以上ある全行程で交通量が増加し事故も増えた。

英国 2022年6月3日 VIAVI Perspective

■ 5Gの通信領域拡大が交通事情に変化をもたらす

How 5G connectivity will change transport

5G通信がコネクテッド車を次のレベルへと引き上げ、道路交通状況の検知、道路上の危険察知、交通状況に関する詳細な情報提供を行うコミュニケーション・ハブとして統合した機能を発揮できるようになるという。また英国の交通事情に関する未来的な予測では、リアルタイムのデータ収集および分析機能の進化が、交通管理の従来の方法を変えていくことが期待されているという。5Gに関連した機能として、Vehicle-to-vehicle (V2V) 相互通信機能があり、車両間のコミュニケーションが可能となり、道路交通状況および制限速度等の重要な通行情報の交換ができるようになる。

米国 2022年6月7日 Associated Press

■ 行政命令により、葬儀に使われる車両が通行料金を免除されることになった

Executive order exempts funeral processions from tolls

ニューハンプシャー州の高速道路では、葬儀に使われる車両は通行料金の支払いの必要がなくなった。ニューハンプシャー州クリス・スヌヌ知事は行政命令書に6月署名し、葬儀車両の通行料金を免除する決定を行った。特に外国で命を失った兵士の家族の代表から、亡くなった方へ敬意を表すために、葬儀に参列した家族の気持ちを和らげるための行政的な措置とのことである。この行政命令書によると、葬儀車列が停止する際に、先頭車両の運転手が氏名を告げて料金所の担当者に後続の車両の台数を申告する必要がある。

フランス (中国) 2022年6月8日 L'USINE DIGITALE

■ Baidu (百度)、未来の電気自動車と自動運転車のコンセプトを発表

Baidu dévoile un concept de son futur véhicule électrique et autonome

中国の検索プラットフォーム企業である百度は、音声認識で制御する自動運転車を6月発表した。AIを駆使し、運転手を必要としない自動車で、ドアノブさえ付いていない。中国の大手自動車メーカー吉利汽車との合弁会社 Jidu Auto 社が2023年から大量生産する見通しである。